



〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3  
電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393  
電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp

## 天草市の死亡野鳥から 高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されました

11月12日に天草市で回収されたヒドリガモ2羽の死亡個体から、11月21日に高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N1）（以下、本病ウイルス）が検出されました。天草の死亡野鳥から本病ウイルスが検出されるのは本年初の事例となります。これを受け、環境省は11月18日より、回収地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定し、熊本県でも野鳥の監視を強化しています。天草家保では、死体発見場所から半径3km以内にある養鶏農家1農場について、鶏の健康に異常がないことを確認しています。

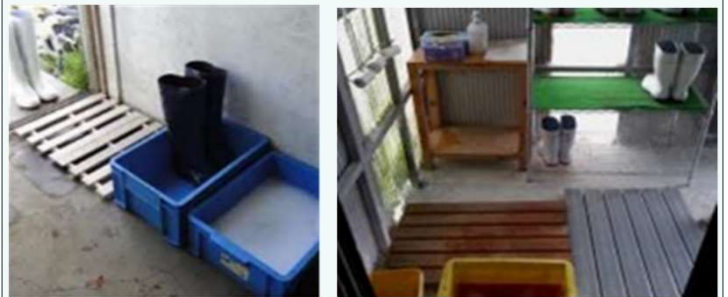
カモ等の野生水鳥は本病ウイルスの自然宿主であり、河川や海に飛来している野鳥も本病ウイルスを保有している可能性が十分に考えられます。天草地域においても様々な場所で野鳥の飛来が確認されており、本病ウイルスが農場へ侵入するリスクは高い状況にあります。特に、野鳥の糞便が付着した靴や車で農場へ入ることは本病ウイルスを農場へ持ち込む大きな要因となるため、農場へ出入りする際はタイヤの消毒、農場専用の長靴及び衣服の着用等、ウイルスの侵入防止対策をお願いします。

車両の消毒、専用の衣服や靴の着用



タイヤの溝やタイヤハウスもしっかりと！

専用の長靴の着用、すのこ等を用いた靴の履き替え時の動線の交差防止



（参考：農林水産省）

なお、本病ウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等があった場合を除いて、人には感染しないと考えられています。日常生活においては、鳥の排泄物等に触れた後には手洗いとうがいをいただければ過度に心配する必要はありません。

今シーズンは、過去最多の発生となった令和4年度シーズンに匹敵するペースで全国的に本病の発生が確認されています（12月4日時点で10道県12事例）。

天草地域においても、野鳥の飛来等、本病ウイルスが農場に侵入するリスクが高い状況にあるため、皆様におかれましては、農場への本病ウイルスの侵入を防ぐため、上記の衛生対策の徹底をお願いします。

# 福岡県と熊本県において ランピースキン病が発生しました

11月6日以降、福岡県の17農場（乳用15農場、乳肉複合1農場、肉用1農場）、熊本県の1農場（乳用）で**ランピースキン病**（以下、本病）の発生が確認されています（12月6日現在）。本病は届出伝染病で死亡率は低いものの、感染牛は食欲不振や発熱、鼻汁等の風邪に似た症状に加え、**全身の皮膚に結節や水腫、泌乳量の減少等**を呈します。

現在のところ発症牛の多くは乳用牛ですが、本病は**乳用牛・肉用牛問わず感染・発症するため**、肉用牛の飼養が盛んな天草地域においても注意が必要です。

また、本病は一般的に**蚊やハエ、ダニ等の衛生害虫の媒介**によって感染が拡大します。そのため、感染経路が似ている**牛伝染性リンパ腫（EBL）の防除対策が本病の予防にも有効**です。気温が下がり衛生害虫も減少してくる時期ではありますが、今一度殺虫剤や粘着シート等を利用し、害虫対策をお願いします。



EBLと異なり、全身に腫脹・結節が認められる。  
（引用：農林水産省HP）

なお、本病は国内初の発生ということもあり、様々な情報が錯綜しやすい状況にあります。皆様におかれましては、不確かな情報を広めたり、惑わされたりすることがないように十分ご注意ください。熊本県においても、正確かつ迅速な情報発信に努めて参ります。

## 近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
口蹄疫 (FMD)	不明	中国	豚	11月3日
		マレーシア	不明	不明
アフリカ豚熱 (ASF)		韓国	豚	11月3日
			野生いのしし（28）	11月
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	韓国	家きん（4）	11月7日～25日
			野鳥	10月14日～11月18日
	H5N3	韓国	台湾	10月
			野鳥	10月2日

令和6年(2024年)12月2日現在

### 通報

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。  
**天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668**

熊本県で働く獣医師の職業紹介動画ができました！  
右の二次元バーコードから動画が視聴できますので、是非ご視聴ください。



熊本県で獣医師になろう！  
（短編）二次元バーコード